



ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

〒044-0121 北海道虻田郡京極町字三崎68番地

TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031

Eメールアドレス

kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小してデイサービスセンターと介護予防センター合同でクリスマス会を実施しました。



日本舞踊朱鳳会とフラダンスの会の発表を動画で視聴し、その後利用者の方々との両会がリモートでの交流を楽しみました。
その他、職員による「アマビエ」の仮装でコロナ終息を祈願しました。

謹賀新年

京極町社会福祉協議会 会長 柳原 保



令和三年、明けましておめでとうございます。新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で世界中が揺れ動いた年でした。東京オリンピックをはじめ多くのイベントの中止や経済に多大な影響がありました。今でも世界で一日に約60万人以上の感染拡大が続いています。

京極社協も「ふれあい広場」や「ほかほかまつり」など、多くの予定していました行事ができませんでした。幸いにも京極町での感染は聞いておりませんが社協としましても三密を基本に守り京極町より感染者を出さないよう万全を期してまいります。

そんななか昨年12月20日、北海道地域福祉学会より京極社協及び地域福祉拠点でありますKyo-Cocoに地域福祉実践賞をいただきました。これも皆様のご協力ご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。また来年もよろしくお願い申し上げます。

「大悪おこれば大善きたる」「冬は必ず春となる」どちらの言葉も苦しさや厳しさに負けず乗り越えた先には良い事や楽しい事があるということでしょう。必ず近い将来コロナ感染症に勝つことが出来るでしょう。今年がそんな年になりますように祈っております。

「命と申す物は一身第一の珍宝なり、一日になりともこれを延るならば千万両の金にもすぎたり」と聖人が云っております。健康ほど大切なものはありません。

「京極町に住んでいて良かった」と皆様から云われるような町づくりを福祉の面から今年も努力してまいります。皆様にとって今年が良い年でありますようにご祈念申し上げご挨拶とします。



京極町社協会長より 感謝状を贈呈

山中 艶子 様

【寄付の目的】

京極町の社会福祉のために使っていただけることを願います。

タニファーム 様・谷 弘子 様

【寄付の目的】

京極町への感謝として。困っている人の助けなど、町の福祉のために使ってください。

笹原 満雄 様

【寄付の目的】

共生型地域福祉拠点きょう・ここに隣接する土地を購入し、町民のために使ってほしい。

令和2年9月3日に京極222番地の土地を購入することができました。

きょう・ここ来館者の駐車場やイベント会場として活用します。



令和2年12月23日、京極町社会福祉協議会に多額の寄付をしてくださった方々に感謝状を贈呈しました。新型コロナウイルス感染拡大による経済状況悪化の中にもかかわらず、多大なご厚意を寄せていただき大きな励みになりました。お受けした寄付金は、寄付者の意向を尊重し地域福祉のために使わせていただきます。



株式会社 櫻組 様

【寄付の目的】新型コロナウイルス感染拡大で大変な状況にあるので支援をしたい。感染対策等に役立ててください。

小山 勇吉 様

【寄付の目的】身体の不自由な方、困難な状況にある方の支援に役立つことを願います。

令和2年度

全国社会福祉 協議会会長表彰

夢田英利監事
古屋清子理事が受賞

長年の社会福祉に対する功績が認められ、全国社協会長より二人が表彰されました。



寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】9月～11月

【寄 贈】・佐藤 登様 ・名水うどん野々傘様 ・(有)京極石油様 ・佐藤 正様
・葛西 良行様 ・菊地 良二様

【寄 付】 「福祉基金へ」

加賀谷 康弘様より、母の故 加賀谷 正子様の生前のお礼として
つどいの場 たんぽぽの会様より、京極町の福祉のために
笹原 満雄様より、京極町の福祉のために
久保 今子様より、夫の故 久保 博様の生前のお礼として
中村 恒男様より、京極町の福祉のために
尾形 祐子様より、夫の故 尾形 日出磨様の生前のお礼として
矢戸 賢一様より、妻の故 矢戸 輝美様の生前のお礼として
葛西 良行様より、母の故 葛西 洋子様の生前のお礼として
森 隆夫様より、母の故 森 俊子様の生前のお礼として
小山 勇吉様より、京極町の福祉のために

地域福祉課発信!! 生活支援コーディネーターと 地域福祉専門員の活動便り

地域福祉課生活支援係ではこんな仕事をしています!

高齢者の生活上の「困った」や「社会貢献したい」方の相談に応じます。生きがいを持って住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お手伝いをする仕事をしています。

今回のテーマは、
「コロナ禍でもできる!オンライン発表会」についてです!

地域で活動したい
住民さんのお手伝いを
しました!



きっかけ



コロナウイルスの影響で町内の発表会が中止になってしまって、日々の成果を披露する場がないわ…。練習していてもイマイチやる気が出てこないの…。

活動者(ボランティア)



三条

後藤

コロナ禍でも皆さんの活動をお披露目できる場を作れないかな?

デイサービス利用者からもボランティアさんとの交流がなくて寂しいとの声があつて…



山本相談員

オンライン
発表会を
企画してみよう!

準備



フラダンスの会・日本舞踊朱鳳会の皆さんがリモートの練習や、当日を想定した練習を重ねました!

結果

活動者の皆様(ボランティア)

披露する場がなくなり活動意欲をなくしていたので、今回の機会は大変ありがたかったです。デイサービス利用者の皆様が楽しんでもらえたら嬉しいです!

支えあい!

デイサービスご利用者

知っている人たちとオンラインでの交流ができてとっても楽しかったです! またやって欲しい!

地域福祉課より交流会を終えての感想

住民同士が会えない状況でも、皆さん楽しく交流できるということがわかりました。一日も早くコロナウイルスの収束を願うばかりですが、これからは今回のような発表会のやり方も選択肢の一つだと思います。この記事を見た住民の皆さんの中でご興味ある方は是非ともお問い合わせください!

お問い合わせ

地域福祉課生活支援係 後藤・三条

☎42-3681

✉kyougoku_seikatsu@yahoo.co.jp

京極町生活サポートセンター

その3 サポートセンター連続広報企画

～市民後見人を知っていますか?～

前回の広報ふれあいにて…

成年後見制度とは何か、後見人は認知症や知的・精神障がいのある方のお金の管理や契約手続きなどを行う人であることを制度の流れを交えながらお伝えしました。

今回の広報ふれあいでは…

一般の市民として地域の中で後見活動を行う「市民後見人」についてご紹介します!

市民後見人とは

各町村で行われている、①市民後見人養成講座を受講・修了し、②後見人候補者名簿に登録、③家庭裁判所に選任された方が市民後見人となります。認知症の高齢者等の増加に伴って、近年利用が増えている成年後見制度の担い手としてその活躍が期待されています。

※市民後見人養成講座とは
→家庭裁判所、弁護士や社会福祉士など、実際に後見活動を行っている方々による講義、施設見学などを通して成年後見制度に関する知識を深めます。



市民後見人になるには…

①市民後見人養成講座受講

②受講修了後、後見人候補者名簿に登録

③家庭裁判所から選任

市民後見人として活動開始!

令和2年度 市民後見人養成講座を行いました!



今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受講者の皆様はお住いのある各町村会場に分かれ、リモートでの受講となりました。



京極町で市民後見人として活躍されている、古屋清子さん(左)・天沼みゆきさん(中央)が講師となって、実際の活動についてお話ししてくれました。

古屋さん・天沼さんの実際の活動の様子をご紹介します!



1.お金を下ろすため銀行へ!



3.被後見人さんに会うため月1～2回程施設を訪問します



2.窓口でお金を下ろします



4.いつも楽しくお話をしています♪

成年後見制度利用や市民後見人養成講座に関するご質問・ご相談はお気軽にお問い合わせください。

京極町社会福祉協議会 生活サポートセンター TEL 0136-42-3681 担当:阿蘇・中村

居宅介護支援事業所

新型コロナウイルス感染対策について、取り組んでいる対応についてご報告させていただきます。

継続的な取り組みとして

- ・健康調査日報(体温、体調等の確認)は休日も含めて実施
- ・自宅訪問前後の手指消毒の実施(消毒ボトル常時携帯する)
- ・マスク装着。医療機関訪問後はマスク交換実施
- ・道外旅行、生活エリアの外出時の事前報告
- ・建物内、車内の消毒



新たな取り組みとして

- ・感染拡大している地域への往来自粛を保つ様、往来時は事前報告
- ・事務所内の空気清浄機、加湿器、ロスナイ換気の実施
- ・職員間にパーテーション設置
- ・都度使用した電話機の消毒



体調確認、マスクや手指消毒、外出制限、事務所内の環境整備等可能な限り感染対策を行っております。利用者の方への自宅訪問についても感染対策を再強化しながら行います。

お問い合わせなど

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎0136-42-3681 (担当:保村・佐藤)

訪問介護事業所

新年、明けましておめでとうございます。

まだまだ寒い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか?訪問介護事業所では、今年も感染対策に気を引き締めて皆様の安心安全な生活を支えて行く事ができますよう努めてまいります。



〈感染症流行時の訪問 および感染症予防について〉

- ①訪問介護員(ヘルパー)は毎日**検温**して**から訪問**します。**お互いの感染症予防のため、ご利用者様**におかれましてもヘルパー訪問前に**検温の実施**をお願いします。
- ②訪問介護員(ヘルパー)は感染症等をご利用者宅に持ち込むことを**出来る限り防ぐ**ため、訪問時は**マスク・必要時の手袋・エプロンの着用・手指消毒**を行います。**ご利用者様**におかれましても、**マスク着用**や**出来る限りの予防対策**をお願い致します。
- ③訪問介護員(ヘルパー)が**体調不良の際**には、**感染症を広げないためお休み**をさせていただきます。そのため訪問する場合は**訪問時間、曜日変更**をお願いする場合がございます。
- ④**ご利用者様が体調不良の際**は訪問介護事業所かケアマネージャーへ**連絡**をお願いします。



住み慣れた環境と時間をいつまでも共有できるように在宅生活をサポートいたします

京極町社会福祉協議会内

訪問介護事業所

京極町地域包括支援センター

家族支援という言葉をご存知でしょうか？家族支援とは、介護を行う家族に向けた支援です。今年は新型コロナウイルスの影響により自宅で過ごす時間が多くなり、介護を必要とする方がいるご家族で家族の介護負担が増えています。

介護はいつ始まるかわかりませんし、終わりも見えないものです。介護を必要とする方への支援だけでなく、介護を行うご家族への支援も大切です。

〈介護疲れの種類〉

○身体的な負担

移動介助、衣類の着脱、入浴介助などにより身体への負担が増えます。特に、腰や膝には過度な負担がかかるため注意が必要です。

○精神的な負担

介護を必要とする方との人間関係からストレスが増加しやすくなります。また、ストレスが増えることで介護うつとなってしまう方も少なくありません。

○経済的な負担

介護離職などにより、紙おむつなどの消耗品にかかる出費が負担となることがあります。



〈介護疲れを軽減するために〉

○専門的なことを相談できる相手を探す

介護疲れが起こる背景には介護者の孤立があります。身内や友人など相談しやすい人がいることで介護疲れを軽減することができます。また、包括支援センターなどにいるケアマネジャーであれば守秘義務があるため、身近な人へ相談しづらいことにも対応ができます。

○介護保険サービスなど高齢者支援サービスを利用する

訪問介護やデイサービス、ショートステイなどを利用することで介護者の負担を軽減することができます。介護保険サービスの利用には一定の要件が必要となるため、ご希望の際は相談窓口へご相談ください。

○介護に対する理解を深める

相談相手を見つけることや介護保険サービスなどを利用するほかに、「介護」というものの自体に対する理解を深めることが大切になります。どんぐりカフェ(認知症カフェ)へ参加し同じ境遇の方の話を聞くことや、ケアマネジャーなどの専門家への相談で理解を深めていきましょう。

〈最後に〉

介護疲れは誰にでも起こり得るものです。介護に関わるご家族自身が介護に立ち向かっていく力を身につけていくことが大切になります。生活のバランスを考えながら、介護と向き合っていきましょう。お困りなことがございましたら地域包括支援センターまでご相談ください。

お問い合わせ 地域包括支援センター (直通☎ 0136-55-8615)

京極町介護予防センター

元気湧く湧くウォークラリー終了!

多くの方に参加いただいた「元気湧く湧くウォークラリー」が11/30で終了しました。台紙の配布数は84枚でした。3枚達成の方7名、2枚達成の方11名、1枚達成の方15名という結果でした。12月から福祉センターで景品を配布しました。達成枚数によって景品は異なりますが、次回のウォークラリーに使えるものとなっています!また参加者の皆様へお願いしたアンケート結果を、次回に生かしたいと考えています。次回の「元気湧く湧くウォークラリー」をお楽しみに!



景品を手にする参加者のみなさん

新規つどいの場「三和会」の紹介

三崎町内会の方を中心に令和2年12月2日から新たにつどいの場「三和会」がスタートしました。コロナが心配な方もいらっしゃると思いますが、それぞれのつどいの場が下記の感染対策をとったうえで開催しています!お近くの方は、ぜひご参加ください!

開催日時: 毎週水曜日10:00~

場所: 福祉センター

サポーター: 古屋 清子さん 多田 英利さん
多田 雅典さん 多田 優美さん

参加平均人数: 6名



「つどいの場」コロナ感染予防対策

- ・当日、自宅での体温測定
- ・マスク着用(運動中、苦しい場合ははずしてもOK)
- ・お口編は自宅で行ってもらう
- ・入室時の手指消毒
- ・会場の換気
- ・参加者同士の椅子の距離は2m程度離す
- ・運動終了後は使用した椅子などをアルコール消毒する



お問い合わせは…介護予防センター(代表☎0136-42-3681)